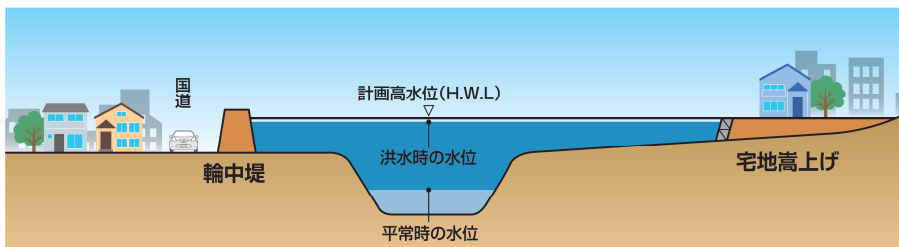


下流部の治水対策

緊急的かつ効率的に住まいを浸水被害から防ぐ対策を実施

由良川下流部は山間の狭い平地に集落が散在しているため、効率的な対策として水防対策（輪中堤、宅地嵩上げ）を実施します。

■下流部改修イメージ図



輪中堤

洪水から効率的に集落を守るため、輪中堤方式により対策を実施します。

実施内容

3地先において
約3,540mの輪中堤を整備



輪中堤整備例（下東地区）



輪中堤整備例（三日市地区）

宅地嵩上げ

散在する家屋については、宅地嵩上げ方式により対策を実施します。

実施内容

15地先(320戸)において家屋を
計画高水位(H.W.L.)まで嵩上げ

実施前



台風18号の水位（推定）

実施後



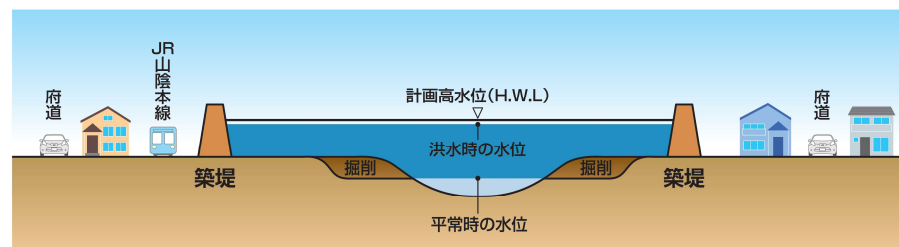
台風18号の水位（推定）

中流部の治水対策

連続堤防整備を基本に対策を実施

由良川中流部は背後に綾部、福知山の市街地という広いはん濫原があるため、連続堤防の整備を実施します。さらに、台風18号と同程度の降雨に備え、河道掘削等を実施します。

■中流部改修イメージ図



連続堤防

連続堤防の整備は、下流部の整備状況を勘案しバランスをとりながら実施します。

また、下流が整備されるまでの当面の間、一部区間では計画高水位(H.W.L.)の高さの堤防を整備します。

実施内容

5地先において
約8,000mの連続堤防を整備



連続堤防施工イメージ（前田・川北地区）

河道掘削等

堤防を整備したうえで、さらに水位を低下させるため河道掘削等を実施します。

掘削した土砂は堤防整備の材料に流用し、コストを縮減します。

実施内容

中流部において
河道掘削等を実施



河道掘削イメージ